




活動名:いかだづくり(5月~10月限定)

ねらい	身近な材料を組み立て、海に浮かばせる一連の過程を通して協力や責任の大切さなどを体験的に学ばせる活動である。材料の運搬・組み立て・運航等の共同活動を通して、協力の大切さとすばらしさに気づかせる。いかだに乗って海にこぎ出すことで、成功の充実感を味わわせるとともに、海に親しみ、自然と私たちとの関わりを考えさせる。		
所要時間	2時間30分程度	活動場所	海浜活動棟前
活動人数	150名 1セットあたり原則4~5人※6人以上不可		
参加者の服装および準備物	<input type="checkbox"/> 服装…帽子(水泳帽不可)、水着、濡れてもいいシャツやラッシュガード、古靴下、古靴やウォータースシューズ(かかどがないものやサンダル等肌が露出する靴は不可) <input type="checkbox"/> 飲料、タオル、着替え(当所の職員が指示した場所に置く。) ※ 熱中症対策のため、活動の始めから終わりまで十分な水分補給ができるように、飲料を多めに注文すること。(飲料には必ず名前を記入すること。)		
活動の流れ	1. 全員そろって事前指導を受ける。		
	2. みんなで協力して組み立てる。		
	(1) 道具を並べる。	(2) 丸太をロープで結ぶ	(3) プイを結ぶ
			
	(4) いかだをひっくり返す	(5) ベニヤ板を丸太に結ぶ。	(6) 完成
			
3. 救命胴衣を着ける。 からだに合ったサイズのものを選び、ファスナーとひもで固定する。 班員同士で着け方やひもの結び目を点検しあい、確実に着ける。(引率者は再度確認)			
4. いかだ活動の説明を受け、安全への注意事項の確認をする。			
5. いかだに乗って海に出る。			
6. 解体し、片付ける。			
留意事項	1. 荒天、高温、気象(落雷・突風)、海象の急変により、活動を中止することがある。詳細は別紙(海活動の中止基準)参照。 2. 引率者は活動中の児童・生徒の様子に注意を払い、安全管理の視点から適宜指導する。(引率者数名は必ず水着に着替えておき、引率者1名は必ず監視用カヤックを海に出し監視する。) 3. バランスが悪くなり大変危険なので、原則子どものいかだに大人は乗らない。 4. 魚釣り・カッター(4~11月)と活動場所が重なるため、職員と相談する。		